

資産運用レポート：個人型確定拠出年金

1 はじめに

2017年1月より、自営業者や企業年金のない企業に努めている会社員しか利用できなかった個人型確定拠出年金が、一般に開放されます。「iDeCo（イデコ）」という愛称までつきました。

今まで、自営業者など限られた人たちの特権だったこの制度を、ほとんどの方が利用できるようになるわけです。

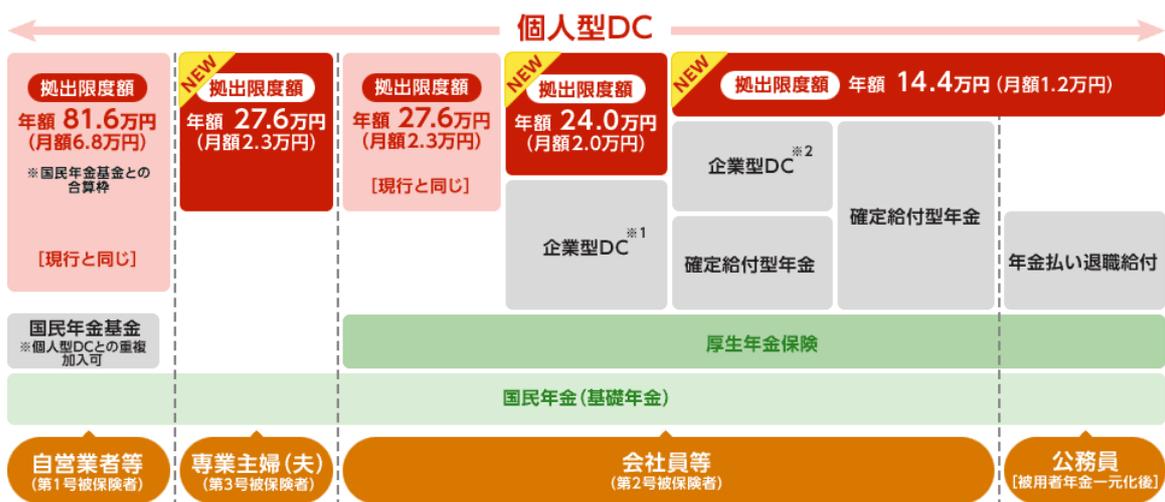
個人型確定拠出年金は、原則60歳まで引き出せない代わりに、とても魅力的な税制優遇措置を備えています。

- 掛金の全額が所得控除の対象
- 運用益が非課税

掛金の全額が社会保険料と同じように所得控除の対象となり、通常なら20%課税される運用益が非課税で再投資できるのも大きいです。

はっきり言って、株式投資家であれば、この制度を活用しない手はありません。ただ元本割れのリスクを伴う以上、それなりの注意点があります。

今回の資産運用レポートは、個人型確定拠出年金について取り上げます。



出典：大和証券

会社員は月額1.2万円ないし2万円、公務員は月額1.2万円、専業主婦は2.3万円を上限に加入できます。